

# 人権だより

(令和6年度2月号)

川之石高校人権委員会 担当 1年次2組

～ 1・2年次 第3回 人権・同和教育ホームルーム活動 ～

寒い中でも春の息吹が感じられる季節になってきました。2月14日(金)の6限目には、1・2年次生が今年度最後の人権・同和问题学習ホームルーム活動を行いました。どのクラスでも、真剣に学習に取り組んでいる様子が見受けられました。今月号では、各クラスの様子やみなさんの感想を紹介します。

## 1年次生テーマ

自分の周りに目を向けようⅡ 一同和問題の解決を目指してー

〈1年次1組〉



○八幡浜市が実施した市民意識調査で「子どもに同和问题をどう教えますか。」という質問に対し、「詳しいことは教えずそっとしておく。」という回答が一番多かったのに驚きました。正しい知識を自分から積極的に学んで、差別を無くするために行動していきたいです。

〈1年次2組〉



○同和问题は、残念ながら今でも根強く残っています。一刻も早く解消しなければならない問題です。差別をしているつもりがなくても、無意識に差別をしてしまう可能性があります。正しい知識を今学んでいる自分たちが周囲の人に伝えていかなければならないと思いました。自分の親が差別に関して間違った知識をもっていたら話し合って正したいと思います。

## 2年次生テーマ

### 解放への歩みⅢ ー戦後の解放運動ー

#### 〈2年次1組〉



○私たちは、戦後の解放運動について学習しました。人としての尊厳を持って生きるためには、差別と闘う力や生きる力に加えて、生活上の困難の解消も必要だと知りました。一人ひとりが日常生活の中で差別を許さない生き方をしていくことが、平等な社会の実現につながります。日ごろから相手の気持ちや立場を考えて行動するようにしたいです。

#### 〈2年次2組〉



○差別をなくすためには、これからの社会を担っていく私たち若い世代の取組が重要だと感じました。過去の歴史から学んで意識を変え、現状を見つめたいです。差別意識がないと思っても、ふとした瞬間に人を傷つけているかもしれません。差別をする側にならないように考えて行動するようにしたいし、差別解消に向けた行動に周囲を巻きこむ勇氣を持ちたいです。

#### 〈2年次3組〉



○私たちは教科書無償運動に関わった人たちのことを学びました。今私たちが当たり前のように教科書を手にしているのは、高知県長浜地区の人たちの強い思いと願いがあつてのものだと知りました。運動が多くの人に支持され、無償化につながりました。行動を起こす大切さを学ぶことができました。自分も差別に対して行動を起こせる人になりたいです。



差別のない、誰もが安心して暮らせる毎日は、勝手にできるものではないですね。一人ひとりの思いやりと行動があつてこそ成り立つものです。みなさんも自分の行動をもう一度振り返ってみましょう。